



沿線紹介

～ 温 故 知 新 ～



有限会社 ナカマル商会 中丸裕嗣



駅前にある根岸歴史マップ

看板には、ここが、1940（昭和15）年に大日本航空株式会社によって作られた、日本初の飛行艇専用の民間飛行場だったと記載されています。横浜・根岸からサイパン経由でパラオのアラカベサン島まで飛行艇（水上飛行機）による定期航空便という航空の役割を担っていた面もある一方、太平洋戦争が始まるころには軍の偵察目的の飛行、戦争が激しくなってくると特攻隊員を乗せて移動する役割もあったみたいです。戦争が終結してからは米軍に接収され飛行場の北西の部分は横浜プールセンター、北東の部分は横浜市立根岸中学校になっています。南の部分はENEOS根岸製油所がありますが製油所の現地見学はできず、関係者以外は立入禁止です。子供のころは良く横浜プールセンターに通っていましたが、築年数の老朽化により現在は閉鎖中です。目の前の駐車場も閉鎖しており何か複合的な施設の建設が始まりそうな感じもします。

弊社の事務所は横浜市磯子区原町にあります。最寄り駅は根岸駅です。根岸駅は、1887年に開業され、以来多くの利用者に親しまれてきました。周辺地域の発展とともに、駅も重要な交通拠点としての役割を果たしています。駅の改札を出ると「歴史を伝える根岸マップ」が掲示されており根岸の歴史を知ることが出来ます。

根岸駅から弊社事務所にむかう途中に根岸飛行場跡地があります。かつて存在した飛行場の跡地です。根岸飛行場は、1930年代に開設され、主に軍用機の訓練や民間航空の活動に利用されていました。根岸飛行場跡と書かれたその



磯子のマンモスプール「横浜プールセンター」跡



この奥に飛行場がありました

根岸駅から歩いて10分ほどの所に横浜市指定有形文化財に指定された「根岸なつかし公園 旧柳下邸」もあります。明治から大正時代にかけての有力商人だった柳下家の邸宅です。大正時代に建設され和室のほかに洋室もあり、大正時代の技術とこだわりが詰め込まれています。無料で建物の見学が出来るので建築に興味がなくとも一度は来場をお勧めいたします。余談ですが、依然蚊媒介感染症サーベイランスの調査場所としてこの庭が指定されていました。





根岸駅は横浜東京のベッドタウンでもあり、飲食に関してはそちらで済ますことも多いせいか駅周辺での賑わいはあまりありません。ですが美味しいお店もたくさんあります。私自身も駅周辺の飲食店は結構行き尽くしました。その中でも皆様に足を運んでいただきたいお店があります。

そのお店の名前は**お好み焼ころんぶす**です。お好み焼きやもんじゃ焼きを食べたくなった時には本場の月島に行かなくてもここで十分事足ります。キムチチャーハン**磯子の逸品**に認定されており美味しいです。お勧めはお好み焼きなら**ころんぶすミックス焼**で、もんじゃ焼きなら**明太餅もんじゃ**にトッピングで**チーズとベビースター**です。自分で焼くもよし、お店の方をお願いするもよし、焼いてくれているのを見ているだけでも食欲がそそられます。クリーミーな生ビールとセットで食べれば明日への活力が生まれることは間違いなしです。